

第7回バイオミネラリゼーションワークショップ

2012年12月1日(土) 東京大学理学部小柴ホール

9:30-9:40 開会のあいさつ(小暮敏博)

セッション1(座長:遠藤一佳)

9:40-9:55 P1 カサガイ類における貝殻微細構造の進化史 ○酒井理恵・鍵裕之・亀形菜々子(東大・院理)・佐々木猛智(東京大学総合研究博物館)

9:55-10:10 P2 ヒトの永久歯の齲蝕による修復象牙質の組織構造と元素組成について ○高橋正志(日歯大・新潟短大)・後藤真一(日歯大・新潟生命歯)

10:10-10:25 P3 海洋細菌のカルサイト顆粒形成メカニズム ○安元剛(北里大海洋)・廣瀬美奈(トロピカルテクノセ)・村田龍・佐藤駿一・神保充・大島泰克・渡部終五(北里大海洋)

10:25-10:35 休憩

セッション2(座長:西村達也)

10:35-10:50 P4 X線回折を用いた軟体動物貝殻を構成するあられ石中の{110}双晶密度評価 ○小暮敏博(東大・院理)・鈴木道生(東大・院農)・金恵眞(東大・院理)・A.G. Checa(Univ. Granada)・佐々木猛智(東大・博)・長澤寛道(東大・院農)

10:50-11:05 P5 硫酸含有炭酸カルシウム結晶の合成及び天然結晶との比較 ○金恵眞・小暮敏博(東大・院理)

11:05-11:20 P6 ACC-バテライト相転移時における中間体 ○杉浦悠紀(早大理工)・小沼一雄(産総研)・門馬綱一(科博地学)・木村勇氣(東北大理)・塚本勝男(東北大理)・山崎淳司(早大理工)

基調講演1(座長:小暮敏博)

11:20-12:00 海洋酸性化のサンゴ礁への影響 ○茅根創(東京大・院理)

12:00-13:10 昼休み

セッション3(座長:笹川一郎)

13:10-13:25 P7 魚鱗における基質タンパク質 GSP37 の発現解析 ○飯村九林・鈴木

道生・遠藤博寿・長澤寛道（東大・院農）

13:25-13:40 P8 棘皮動物幼生形態の進化発生学：幼生骨片の獲得進化の再現を目指して ○古賀皓之・守野孔明・和田洋（筑波大・院生命環境）

セッション 4（座長：鈴木道生）

13:40-13:55 P9 巻貝における貝殻形成の分子メカニズム ○清水啓介・遠藤一佳（東大・院理）

13:55-14:10 P10 蓋はもう一枚の貝殻か？ ～進化発生学的知見から～ ○橋本直樹・栗田喜久・和田洋（筑波大・院生命環境）

14:10-14:25 P11 トランスクリプトームによるアコヤガイ幼生殻形成関連遺伝子の探索 ○竹内猛（OIST・マリングゲノミックスユニット）

ポスターセッション

14:25-15:35（奇数）

15:35-16:45（偶数）

基調講演 2（座長：都木靖彰）

16:45-17:25 バイオミネラリゼーション研究 20 年 ○長澤寛道（東大・院農）

17:25-17:30 閉会のあいさつ（遠藤一佳）

18:00-20:00 懇親会（理学部一号館 3 階 336 号室）